

黒潮町

くろしおちょう

人が元気、自然が元気、地域が元気

黒潮町には、古くから恵まれた自然とともに育まれた
数多くの文化遺産があります。

黒潮町の今へつながる文化財の数々をご紹介。



黒潮町の文化財

MAP⑩
加茂八幡宮

入野加茂屋敷にあった加茂神社(祭神は高鴨阿治須岐託彌根命)と入野早咲地区にあった八幡宮(祭神は応神天皇と神巧皇后が慶長4(1599)年頃合祀となつて加茂八幡宮となつています。祭日は7月と10月に行われています。

指定年月日／昭和47年11月3日



昔を訪ねて
今を知ろう。

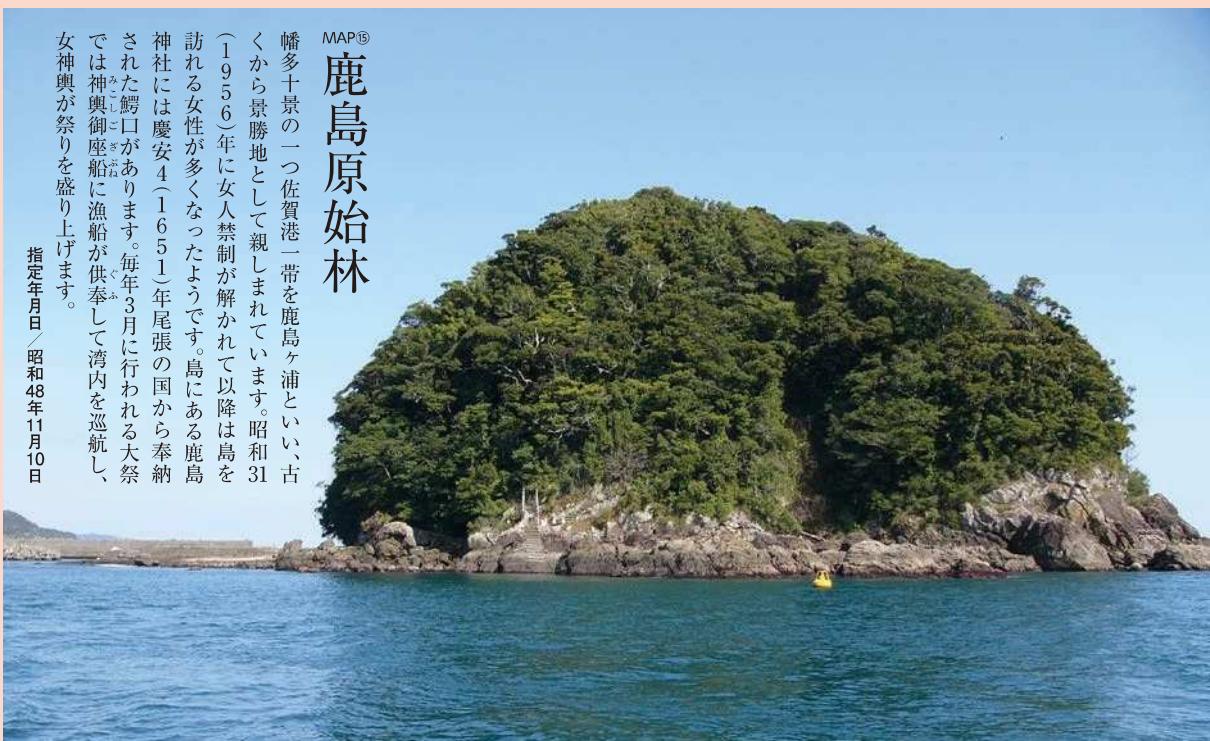
MAP⑪
安政津波の碑

安政4(1857)年に後世への警告を念じて地元民が建立しました。鉛浪(津波の余波)果たして海嘯(津波)の兆しなりとう碑の意味からも、東海、東南海地震はこれから統いて起きていたということがわかります。



黒潮町教育委員会

指定年月日／昭和47年11月3日



MAP^⑯
鹿島原始林

幡多十景の一つ佐賀港一帯を鹿島ヶ浦といい、古くから景勝地として親しまれています。昭和31（1956）年に女人禁制が解かれ、以降は島を訪れる女性が多くなったようです。島にある鹿島神社には慶安4（1651）年尾張の国から奉納された鰐口があります。毎年3月に行われる大祭では神輿御座船に漁船が供奉して湾内を巡航し、女神輿が祭りを盛り上げます。

指定年月日／昭和48年11月10日

黒潮町指定文化財一覧表

順位	指定年月日	種別	名 称	所在地
1	国・町	史跡	入野松原	入野
2	県・町	史跡	田ノ口古墳	下田の口
3	県・町	史跡	有井庄司墓	有井川
4	町	史跡	佐賀城址	佐賀
5	町	史跡	伊与木城址	伊与喜
6	町	史跡	伊与木弥平次墓	伊与喜
7	町	史跡	萬六の墓	小黒ノ川
8	町	史跡	早咲遺跡	早咲
9	町	史跡	米原宮址	米原
10	町	史跡	大平弾正の墓	奥湊川
11	町	史跡	安政津波の碑	入野
12	町	史跡	えい歯の碑	伊田
13	町	史跡	鹿々場窯跡	浮津
14	町	史跡	清岸山東光院松山寺跡	伊田
15	町	天然記念物	鹿島原始林	鹿島
16	町	天然記念物	ヤマトタチバナ	佐賀
17	町	天然記念物	ムクの木・ユスの木	市野々川
18	町	天然記念物	桜	市野瀬
19	町	民俗・有形民俗	釋了西	佐賀
20	町	民俗・有形民俗	稗の種	拳ノ川
21	町	民俗・有形民俗	水力メ（瓶）	(黒潮町役場本庁 文献室にて保管)
22	町	民俗・有形民俗	鍋炉	拳ノ川
23	町	民俗・無形民俗	有井川庄司踊り	有井川
24	町	民俗・無形民俗	蟾川の常清踊り	蟾川
25	町	民俗・無形民俗	伊田の新吉踊り	伊田
26	町	民俗・無形民俗	歌 浮津お竹さん	浮津
27	町	民俗・無形民俗	上川口の舟歌	上川口
28	町	有形・彫刻	馬頭観音像	市野々川
29	町	有形・彫刻	観音像	拳ノ川
30	町	有形・歴史資料	谷干城掛軸	市野瀬
31	町	有形・建造物	加茂八幡宮	入野
32	町	有形・建造物及び彫刻	大方山長泉寺及び銘のある仏像	入野
33	町	有形・建造物及び彫刻	蓬萊山南観院飯積寺及び本尊仏像	田野浦
34	町	有形・古文書	月字の額の記	伊田
35	町	有形・工芸品	田村大明神社御神体の大瓶と鹿持城跡出土瓶	田村
36	町	有形・書跡典籍	月字の額	伊田
37	町	有形・建造物	伊田安政津波の碑	伊田
38	町	有形・美術工芸品	上川口天満宮カツオ一本釣り絵馬	上川口 (黒潮町役場本庁 文献室にて保管)
39	町	有形・美術工芸品	上川口天満宮カツオ絵馬	上川口 (黒潮町役場本庁 文献室にて保管)

黒潮町文化財マップ

KUROSHIOOcho Cultural Properties Map



MAP①

名勝 入野松原

天正年間、長宗我部元親の重臣、谷忠兵衛忠澄が植えたものといわれています。

昭和20(1945)年、軍の伐採計画があったが、
当時の営林署長堀内雍喜が身命を賭して反対し守った。
そして、現在では松原は4kmにわたり景勝地、観光、町民の散歩、
ジョギングコースとして、親しまれています。
昭和3(1928)年に当時の内務省より
名勝「入野松原」に指定されています。

指定年月日／昭和3年2月17日



有形民俗・他

民の生活



指定年月日／昭和50年3月18日

MAP⑯ ヤマトタチバナ
天然記念物
所在地／佐賀
暖地の沿岸地にまれに自生する日本特産種です。高さ2~4メートルになり、6月には白い花を咲かせます。果実は直径2~3センチの扁球形。



指定年月日／昭和51年4月11日

ユスの木の老木は学術上非常に珍しく、ユスの木は葉の表面がザラザラしていて工芸品の磨きなどに使われていました。両方とも風格と尊厳さは他にはありません。

MAP⑰ ムクの木・ユスの木

天然記念物

所在地／市野々川

有形民俗

所在地／拳ノ川
(黒潮町役場本庁
文献室にて保管)

彫刻

所在地／拳ノ川

指定年月日／昭和59年8月2日
建立年月日／昭和50年3月18日
は不明、萬六は一度は伊与木郷へ流刑になりました。
ながら、大庄屋の口利きで屋敷の奉公人になり、小黒ノ川のお兼と恋仲になりました。一度は親の反対で引き裂かれるもののその後お兼と一緒に、住居を構えて小黒ノ川で暮らしました。



指定年月日／昭和50年3月12日

MAP⑱ 萬六の墓

史跡
所在地／小黒ノ川

暖地の沿岸地にまれに自生する日本特産種です。高さ2~4メートルになり、6月には白い花を咲かせます。果実は直径2~3センチの扁球形。



指定年月日／昭和50年3月12日

MAP⑲ 馬頭観音像
彫刻
所在地／市野々川
道の傍のお堂の中に地域の人たちによる手作りの着物を着て祀られています。昔道中の安全を願ったものだと思われます。



指定年月日／昭和50年3月12日

MAP⑳ 水力メ(瓶)
水道が普及する前には各家庭には必ずあり、生活水を溜めていた瓶。

MAP㉑ 水力メ(瓶)
所在地／拳ノ川
(黒潮町役場本庁
文献室にて保管)

彫刻

所在地／拳ノ川

MAP㉒ 觀音像
所在地／拳ノ川
(黒潮町役場本庁
文献室にて保管)

もともとは永隆寺が所有していたものですが寺は明治の廃仏毀釈により廃寺、現在は拳ノ川の集落により大事に管理されています。

指定年月日／昭和50年3月12日



指定年月日／昭和50年3月12日

MAP㉓ 稗の種
有形民俗
所在地／拳ノ川
寛政12(1800)年二宮佐衛門が子孫に残したヒエのうち、食べ残した分を代々大切に保存するよう申し伝えています。虫などは全くついておらず約200年も経ているとは思えないほど保存状態は良好です。



指定年月日／令和3年7月2日

MAP㉔ 上川口天満宮力ツオ一本釣り絵馬
和船に乗り、船べりに並ぶ14人の漁師が、まさに勇壮な一本釣りの真っ最中という場面が描かれています。

MAP㉕ 美術工芸品
所在地／上川口
(黒潮町役場本庁
文献室にて保管)



指定年月日／昭和50年3月12日

MAP㉖ 鋼炉

有形民俗
所在地／拳ノ川

所有者宅に何十年も前からあります、家族の人数が多い時にはお酒の爛と料理が同時にできるので、大変重宝していました。

指定年月日／昭和50年3月12日

MAP㉗ 上川口天満宮力ツオ絵馬

美術工芸品
所在地／上川口
(黒潮町役場本庁
文献室にて保管)

漁師の心意気や当時の暮らし、カツオとの生活を示す貴重な資料です。

カツオを一匹まるごと描いた絵馬は珍しく、作者は不明ですが、鮮やかに表した色彩が素晴らしい、美しく描かれています。

指定年月日／令和3年7月2日

城・神社・仏閣

受け継がれる信仰の心



MAP④
佐賀城址
造られた年号は明らかではない。土佐国古城略史にも、城主は最初は伊与木城主が兼ねていたが、天正年間に一条家が滅び、長宗我部元親に光富權之助が佐賀城を給わったとの記述があります。

指定年月日／昭和48年11月10日



MAP⑤
伊与木弥平次墓
伊与木城5代目城主「伊与木弥平次」の墓、城主中最も有名で、弓は土佐三強弓に数えられていましたが、17歳の時朝鮮へ出兵し高麗国で命を落としました。墓は長宗我部元親が贈つたとされています。

指定年月日／昭和48年11月10日



MAP⑬
蓬萊山南観院飯積寺及び本尊仏像
弘法大師の開基であるといわれており、本尊の十一面觀音は正応4（1291）年に作られています。8合目付近の休憩所からは、西は四十万市河口、東は井ノ岬まで眺めることができます。「カンノンサン」と呼ばれる縁日は2月と8月にあります。

指定年月日／平成2年4月1日



MAP⑯
桜
福泉寺境内の樹齢推定400年以上の銘木であり、地区民の手により大切に管理されています。

指定年月日／昭和50年3月12日



MAP⑭
大方山長泉寺及び銘のある仏像
開基年代不詳。明治13（1880）年本山を妙心寺末寺に属して再興、本尊は千手觀音で他にも達磨像、虚空藏菩薩があります。

指定年月日／平成2年4月1日



MAP⑮
伊与木城址
文明10（1478）年一條教房が建築、慶長6（1601）年に山内一豊に城を明け渡すまでの122年間、城主は伊与木家が務めています。

指定年月日／昭和48年11月10日



MAP⑰
谷干城掛軸
昭和35（1960）年ごろ旧窪川町で医院を開業していた方が所有していた掛け軸を、県外へ引っ越し際に譲り受けたものです。

指定年月日／昭和50年3月12日



MAP⑯
釋迦堂
地区の人が大切にしている觀音様です。地域の人たちには、仏弟さんと呼ばれ親しまれています。

指定年月日／昭和50年3月12日

MAP⑥
史跡
所在地／伊与喜

MAP⑯
天然記念物
所在地／市野瀬

MAP⑮
史跡
所在地／伊与喜

MAP⑯
有形民俗
所在地／佐賀

尊良親王伝説

元弘の変により、尊良親王（後醍醐天皇の長男）が元弘2（1332）年北条幕府より土佐の戻る浜（現在の黒潮町王無の浜）に配流され、京に戻るまでの1年余りの歳月を二忠臣（大平弾正・有井庄司）に守られ、無事京に戻られた。

史跡 所在地／奥湊川

大平弾正の墓

MAP⑩
大平弾正是二忠臣の一人で、親王が配流された時最初に自分の館で警備をした人物です。現在の墓は口湊川の庄屋が文政6（1823）年に再興したものであると伝えられています。

指定年月日／昭和47年11月3日



史跡 所在地／米原

米原宮址

MAP⑨
尊良親王配流中の最後の仮御所跡です。ここを訪れた文豪大町桂月が歌を残しています。

指定年月日／昭和47年11月3日



史跡 所在地／奥湊川

有井庄司墓

MAP③
二宮三郎左衛門豊高（有井庄司）の供養塔、五輪塔は1年余りの彼の忠義に対して感謝した親王が京に帰った後贈つてきただものを主とすると伝えられています。

指定年月日／昭和28年1月29日



関連スポット



新王2番目の仮御所の近くに立つ千代の碑

MAP㉚
有井川庄司踊り
有井庄司の慰靈供養の盆踊りで、今も毎年8月16日に「しょうじん踊り」として行われおり、彼が元民に慕われていることがわかります。

指定年月日／昭和47年11月3日

無形民俗 所在地／有井川

有井川庄司踊り

紀貫之伝説と松山寺

MAP⑭
清岸山東光院松山寺跡
開基は、「空海」或いは聖武天皇の勅願所との言い伝えがあり、本尊地蔵菩薩は「行基」の作といわれています。その後隆盛、衰退を繰り返し、明治初年頃廃仏毀釈の政策により廃寺となりました。

史跡 所在地／伊田



史跡 所在地／奥湊川

月字の額の記

MAP㉛
寛政2（1770）年幡多郡奉公「尾池春水」作の月字の額についての記（記録）原本のまま今も残っています。

指定年月日／平成2年4月1日



史跡 所在地／奥湊川

古文書 所在地／伊田

月字の額の記

MAP㉕
寛政2（1770）年幡多郡奉公「尾池春水」作の月字の額についての記（記録）原本のまま今も残っています。

指定年月日／平成2年4月1日



史跡 所在地／奥湊川

古文書 所在地／伊田

月字の額

MAP㉖
貫之が土佐の守の任務にあった時、自ら書いて序舎に掲げてあつたものが松山寺に移されたとされる額を寺の僧が不要物と思って捨て置いていたものを中村の郡奉公であつた「尾池春水」が寺に立ち寄り紀貫之の書として世間に広めました。

指定年月日／平成2年4月1日



史跡 所在地／奥湊川

書跡典籍 所在地／伊田

月字の額

MAP㉗
貫之が土佐の守の任務にあった時、自ら書いて序舎に掲げてあつたものが松山寺に移されたとされる額を寺の僧が不要物と思って捨て置いていたものを中村の郡奉公であつた「尾池春水」が寺に立ち寄り紀貫之の書として世間に広めました。

指定年月日／平成2年4月1日



史跡 所在地／奥湊川

MAP㉘
えい歯の碑
史跡 所在地／伊田



史跡 所在地／奥湊川

MAP㉙
清岸山東光院松山寺跡
幡多郡奉公（教授方頭等も務める）尾池春水、文化10（1813）年没の遺歯の碑。碑は現在松山寺の後身現在の観音寺の境内に移しました。

史跡 所在地／奥湊川

MAP㉚
えい歯の碑
史跡 所在地／伊田



史跡 所在地／奥湊川

